

結婚

まだ結婚について具体的なイメージはありませんが、**少子化**も騒がれている時代ではありますし、また将来のことも考えると然るべき時に然るべき結婚することに前向きではあります。

25 歳未婚



結婚は当人同士の問題という人もいるけれど、お互いの両親や親族との関係も大切。両親が近くに住んでいるのでとても助かっています。子どもたちを快くみてもらえるので夫婦で出かける機会もでき、とても感謝しています。

働いて生活費を稼いだり家事をしたりすることに対して、それが当たり前のことだと思わず、常に「**してくれてありがとう**」の気持ちを忘れずに生活することを心がけることが大切だと思います。

37 歳既婚



お互いの**両親と友好的な状態**を維持できる家庭が理想。結婚は義務だと思し、結婚後もきちんと子どもを育て結婚生活を維持していかないといけないと思う。状況によっては離婚もあると思うし離婚が悪だとは思わないが、そうならないように努力する必要があると思う。

両親を安心させるため、また社会の一員としての責務を果たすため早く結婚し家庭を築きたい。

31 歳未婚



結婚は、いつかはしたいと思っていますが、家事をまともにやってきていないため、いろいろ**不安**です。こんな状況で結婚したら旦那さんがかわいそうだと思うので結婚したくない時もあります。一人っ子で女なのでしなきゃいけないという妙な**プレッシャー**があります。結婚についてはできる限り考えず先延ばしにしたいものです。

19 歳未婚



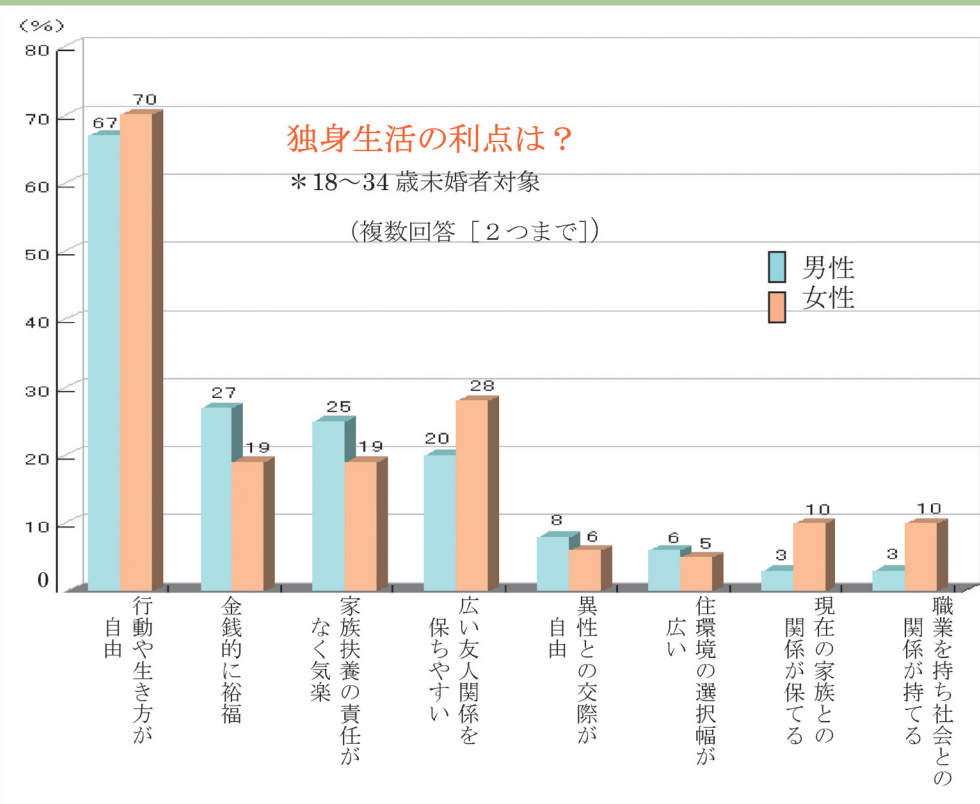
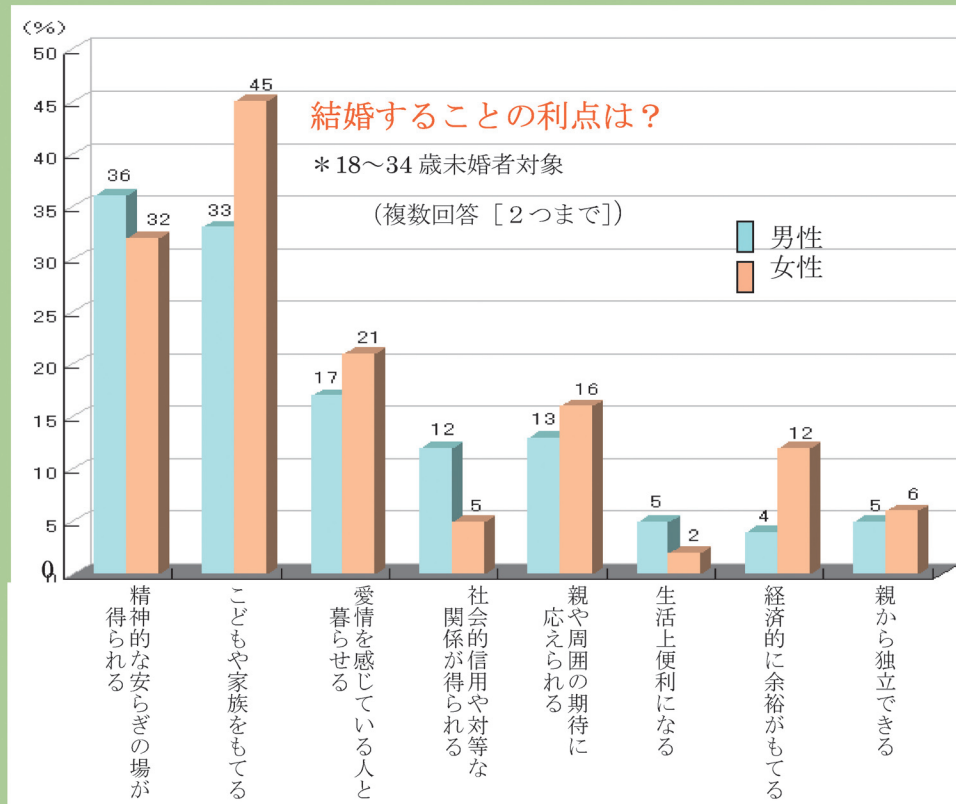
結婚フリートーク



長続きさせるためには？

- 妻を**きれさせない**。(32 歳男性)
- 妻の小言は**黙って聞く**。(36 歳男性)
- 思いやり**の心。(37 歳男性)
- とりあえず「**ありがとう**」と「**ごめんね**」をくやしくても言うこと。(32 歳女性)
- 妥協と忍耐と感謝。お互いの生活スタイルや趣味について**干渉しない**。(37 歳女性)
- 長続きするから良いというものでもないが**所詮は他人**であることを常に思っておく。(38 歳女性)
- 「**ガマン**」でしょうか。「ヒト」と割り切って**フォロー**し合っていくことですかね。(41 歳男性)
- 相手に**求めすぎない**。(46 歳男性)
- 感謝**をする気持ちを持つ。イライラもしますが気持ちをためずに話すこと。(41 歳女性)
- 一緒にいることが**当然**と思わない。(41 歳女性)
- 相手に**過度な期待**はしない。(54 歳女性)
- 信頼を裏切らない。**干渉**しすぎない。(55 歳女性)
- 相手を**信じて**おく。**我慢**するときはする。**言いたいこと**はいう。(58 歳男性)
- 夫婦間の**会話**を持ち続けること。**寛容な心**を持つ。(58 歳男性)

結婚すること・独身でいることの利点は？



注目!

「独身にとどまっている理由」
25～34 歳対象
(複数回答 [2 つまで])

- 1 位 適当な相手にめぐり合わない
男性 45% 女性 49%
- 2 位 必要性を感じない
男性 32% 女性 32%
- 3 位 自由や気楽さを失いたくない
男性 30% 女性 33%

国立社会保障・人口問題研究所
「第 13 回出生動向基本調査」
2005 年より



育児・介護休業法が改正されました

仕事と家庭の両立をより一層推進するために、「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」が改正され、平成 22 年 6 月 30 日から施行されました。

(常時 100 人以下の労働者を雇用する事業主については、一部の規定のみ平成 24 年 6 月 30 日まで適用が猶予される)



①子育て中の短時間勤務制度及び所定外労働の免除の義務化

3 歳までの子を養育する労働者に対する短時間勤務制度(1日6時間)を設け、労働者からの請求があったときの所定外労働(残業)の免除を制度化

②子の看護休暇制度の拡充

小学校就学前の子が 1 人の場合年 5 日(現行)、2 人以上の場合年 10 日の看護休暇を取得可能

③父親の育児休業の取得促進



父母ともに育児休業を取得する場合、1歳2か月(現行1歳)までの間に1年間育児休業が取得可能(パパ・ママ育休プラス)
出産後8週間以内に父親が育児休業を取得した場合、再度、育児休業の取得が可能
配偶者が専業主婦(夫)であれば育児休業の取得不可とすることができなくなる制度を廃止

④仕事と介護の両立支援

要介護状態にある家族の介護等を行うため、対象家族が 1 人の場合年 5 日、2 人以上の場合年 10 日の介護休暇が取得可能



⑤法の実効性の確保

苦情処理・紛争解決の援助及び調停の仕組みを創設
勧告に従わない場合の公表制度や報告を求めた際に虚偽の報告をした者等に対する過料を創設



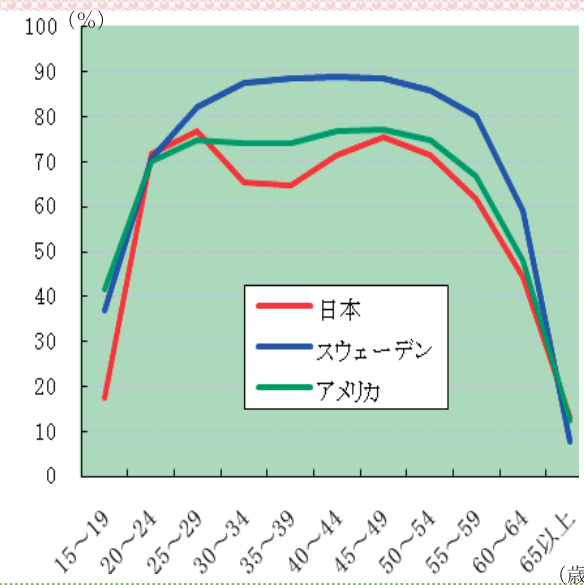
『M字型曲線』

15 歳以上の女性の労働力人口比率を年齢階級別にグラフに表すと、30 歳代前半を谷とし、20～24 歳と 45～49 歳が山になる形になり、「M」の形に似ていることから「M字型曲線」といいます。日本のこの現象は、結婚・出産・育児で退職し、子育てが終わった時点で再就職するというライフスタイルをとる女性が多いからです。スウェーデンやアメリカでは谷のない台形になります。また、日本の男性も台形です。

日本の女性が、継続就業が難しいのは、育児と仕事の両立が困難な社会状況があるためです。

平成 22 年 6 月 30 日育児・介護休業法が改正されて、男女ともに子育て等をしながら働き続けることができる雇用環境が整備されました。

女性の年齢層別労働力率の国際比較



日本は総務省「労働力調査(詳細集計)」(平成 20 年)
その他の国は ILO「LABORSTA」より作成

日本の晩婚化は一九七〇年頃からみられ、平均初婚年齢が一九六九年に男性二六・九歳、女性二四・二歳でしたが、年々上昇傾向をたどり、二〇〇五年には男性三〇歳、女性二八・二歳になっています。(厚生労働省「人口動態統計」より)

また、今と昔では結婚に関する考え方もずいぶん変わってきています。そこで、今回は結婚について考えてみました。

独身や、新婚ホヤホヤから結婚暦三十五年を迎えた十九歳から六十二歳までの方に、結婚生活・独身生活で日々感じていることを、アンケートに回答していただきました。

「結婚」にまつわる皆さんの声を紹介します。